

相互評価後の様子



21

作品評価について、相互評価

相互評価前

改善点

相互評価後



ポスターの相互評価
作成したポスターを互いに評価しましょう！

評価する方

作成したポスターは、漢字や英語がわからない人の読みがうるさく、どうですか？
回答を入力

作成したポスターは、色が強烈しつづけた人の読みがうるさく、どうですか？
回答を入力

作成したポスターは、色が濃くて強くが見えにくいから見にくく、どうですか？
回答を入力

22

1つの課題で、まとめて表示する

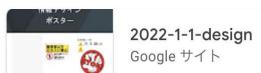
〔授業〕ポスターの共有と相互評価

1. GoogleSiteにダウンロードした、ポスター画像を挿入
2. 「Webサイト」を見ながら、「評価の入力」を実施
3. 「相互評価」を見ながら、作成したポスターを修正

| Webサイト |
<https://sites.google.com/hokkaido-c.ed.jp/2022->

| 相互評価入力 |
<https://forms.gle/eJa>

| 相互評価の共有 |
<https://docs.google.com/spreadsheets/d/110qqvOqk8nSTgPrE>



課題が増えないように、
1つにまとめ、リンクから
目的の課題を開けるよ
うにする。

23

気づきのベクトル

著作権のため印刷表示なし

多摩美術大学 デザインシティ講義プログラム「デザインの速度とは？」廣村正彰 より

24

情報デザインを活用した問題解決2

問題例(共通テスト2022 情報関係基礎 追試験)

某市某地区にあるダンススクールは、再来月にダンス発表会を開催することになり、ダンススクールの周辺住民に広く告知したいと考えた。発表会の告知方法として、スクールの広報活動で利用できるメディアと周辺住民が利用しているメディアについてアンケートを取り、その結果から後の因)を作成した。

表1 各メディアの利用率

メディア	対象範囲	更新頻度	告知費用	情報発信形式
地元新聞	県内	毎月第2水曜日	高額	文書・画像
地区的広報誌	地区内	毎月第2水曜日	無料	文書・画像
地区的掲示板	地区内	随時	無料	文書・画像
スクールのWebサイト	全世界	毎月	無料	文書・画像
動画SNSアプリ	全世界	毎日	無料	動画

※掲載は2日前までに依頼する必要がある。



図1 各メディアの利用率

- 問1. あなたが下記に記載されるスクールのWebサイトの特徴として正しいものを、選びなさい。
- ① 「地元新聞より対象範囲が狭い」かつ「随時更新できる」
 - ② 「地方新聞より安価で告知できる」かつ「他のどの報紙よりも周辺住民のメディア利用率が高い」
 - ③ 「JPEG形式のファイルを掲載できる」かつ「地区的掲示板よりも周辺住民のメディア利用率高い」
 - ④ 「JPEG形式のファイルを掲載できる」かつ「動画SNSアプリよりも周辺住民のメディア利用率高い」
- 問2. 録音曲を新規登録するときに、興田本わいざーどみの英語遊びに対し、A楽曲やB楽曲等を選択して下さい。表記は間違っている最も適切なタグを、選びなさい。
- ① 地元新聞
 - ② 地区の広報誌
 - ③ 地区の掲示板
 - ④ スクール Web サイト
 - ⑤ 動画 SNS アプリ
- 問3. 発表会の開催日が引いてしまって、告知していく内容の修正が必要となつた。費用がかからずとも複数メディアを利用して一週間以内には周辺住民に正確情報を伝えたい。どのメディアを利用すべきか、選んで下さい。
- ① 地元新聞
 - ② 地区の広報誌
 - ③ 地区の掲示板
 - ④ スクール Web サイト
 - ⑤ 動画 SNS アプリ

25

情報デザイン活用した問題解決(情報の発信とメディアの性質)

某市某地区にあるダンススクールでは、再来月にダンス発表会を開催することになり、ダンススクールの周辺住民に広く告知したいと考えた。発表会の広報戦略を立てるため、スクールの広報活動で利用できるメディアと周辺住民が利用しているメディアについてアンケートを取った。

さらに、周辺住民に普段から利用しているメディアについてアンケートを取った。費用をかけずに多くの周辺住民に対して告知できるメディアを選択するために、調査結果やアンケートをまとめましょう。

『各メディアの調査結果』

1. 地元新聞は、県内に毎日、文章や画像で発信することができる。ただし、告知は高額であり、掲載には2日前までに依頼する必要がある。
2. 地区の広報誌は、地区内に、毎月第2水曜日までに、文章や画像で発信することができる。費用は、無料であり、掲載には2日前までに依頼する必要がある。
3. 地区の掲示板は、地区的数ヵ所に、文章や画像で発信することができる。費用は、無料であり、随時更新されるが、掲載には2日前までに依頼する必要がある。
4. スクールのWebサイトは、随時更新され、全世界に発信される。告知には、定額の料金が発生するが、文章や画像、動画を発信することができる。
5. 動画SNSアプリは、随時更新され、全世界に発信される。無料で、動画を発信することができる。

可視化
→

メディア	対象範囲	更新頻度	告知費用	情報発信形式	備考
地元新聞	県内	毎日	高額	文書・画像	
地区的広報誌	地区内	毎月第2水曜日	無料	文書・画像	
地区的掲示板	地区内	随時	無料	文書・画像	
スクールのWebサイト	全世界	毎月	無料	文書・画像	
動画SNSアプリ	全世界	毎日	無料	動画	

26

可視化を問題解決につなげる。

利用しているメディアのアンケート

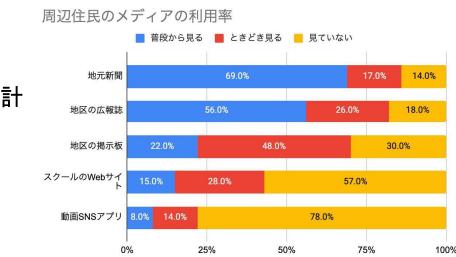
フォームの説明

地元新聞

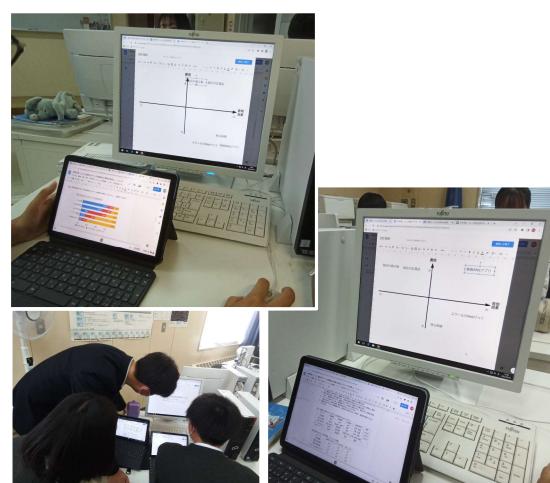
□ 曜日見ゆ
□ ときどき見る
□ 着いてない
□ 読取版を追加または「その他」を追加

データ集計
可視化

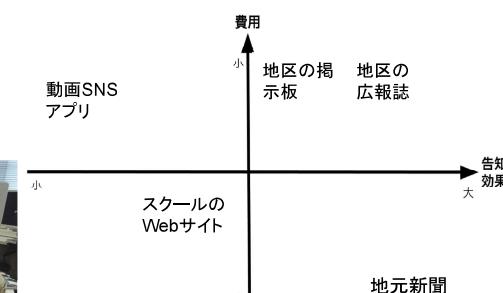
周辺住民のメディアの利用率 アンケート結果			
メディア	普段から見る	ときどき見る	見ていない
地元新聞	138	34	28
地区的広報誌	112	52	36
地区的掲示板	44	96	60
スクールのWebサイト	30	56	114
動画SNSアプリ	16	28	156



思考ツール(マトリックス図)を活用して各メディアをポジショニング



費用をかけずに多くの周辺住民に対して告知できる
るメディアとは



28

27

フォームを活用して、知識理解の把握

次の問について、答えなさい。

某市某地区におけるスクールでは、毎月月に学年会を開催することになり、各スクールの担当者に多く参加したいと考えた。教育会の広報誌を立てたため、メールの広報活動を利用してあるスクールの特徴を検討して、次の表1にまとめる。さらに、周辺住民が普段から利用しているメディアについてアンケートを取り、その結果から後の図を作成する必要がある。

表1 各メディアの特徴

メディア	対象範囲	更新頻度	佐賀教育	情報交付形式
地区内	地内	毎月第2水曜日	無 料	文部・県務
地区内の店舗	地区内	毎月第2水曜日	無 料	文部・県務
地区の広報紙	周辺住民	毎月	無 料	文部・県務
スクール Web サイト	全世界	毎月	依 頼	文部・県務・教職員
塾の SNS サイト	全世界	毎月	無 料	塾の

※複数回答まで記入欄がある。

図21 周辺住民のメディア利用率

年齢層	10歳未満	11歳～14歳
未満	25%	17%
未満	25%	18%
未満	22%	40%
未満	25%	23%
未満	14%	18%

■未満■14歳未満■15歳未満■20歳未満■25歳未満■30歳未満■35歳未満■40歳未満■45歳未満■50歳未満■55歳未満■60歳未満■65歳未満■70歳未満■75歳未満■80歳未満■85歳未満■90歳未満■95歳未満■100歳未満

問1. 表と図から読み取れるスクール Web サイトの特徴として正しいものを、選びなさい。

①「地域固有のうちも対象範囲が広い」かつ「毎月更新できる」

②「地区新聞より安価で告知できる」かつ「地区的広報誌より周辺住民のメディア利用率が高い」

次の問について答えなさい。

問1 場所や利用する人の特性についての情報を、言語を使わずに1ポイントばやく伝えるための抽象化した記号。

(ア) ユービリティ

(イ) アクセシビリティ

(ウ) バリアフリー

(エ) アクション

(オ) ピクトグラム

(カ) 情報デザイン

(キ) ユニバーサルデザイン

(ク) ラグナフアイ

問2 性別や年齢、身体の障害の有無などによらず、だれでも簡単に使えるような道具や装置、サービスなどのデザイン。

(ア) ユービリティ

(イ) アクセシビリティ

(ウ) バリアフリー

(エ) アクション

(オ) ピクトグラム

(カ) 情報デザイン

(キ) ユニバーサルデザイン

(ク) ラグナフアイ

29

情報デザインの評価例と評価の総括例

[学習評価の在り方ハンドブック\(高等学校編\)](#)

評価について(国立教育研究所資料より)

評定への総括は、学期末や学年末などに行われることが多い。学年末に評定へ総括する場合には、**学期末に総括した評定の結果を基にする場合と、学年末に観点ごとに総括した結果を基にする場合**が考えられる。観点別学習状況の評価の評定への総括は、各観点の評価結果をA, B, Cの組合せ、又は、A, B, Cを数値で表したものに基づいて総括し、その結果を5段階で表す。

A, B, Cの組合せから評定に総括する場合、「BBBB」であれば3を基本としつつ、「AAA」であれば5又は4、「CCC」であれば2又は1とするのが適当であると考えられる。

それ以外の場合は、各観点のA, B, Cの数の組合せから適切に評定することができるようあらかじめ各学校において決めておく必要がある。

観点別学習状況の評価に係る記録の総括(国立教育研究所資料より)

適切な評価の計画の下に得た、生徒の観点別学習状況の評価に係る記録の総括の時期としては、**単元(題材)末、学期末、学年末等**の節目が考えられる。総括を行う際、観点別学習状況の評価に係る記録が、観点ごとに複数ある場合は、例えば、次のような総括の方法が考えられる。

・評価結果のA, B, Cの数を基に総括する場合

何回か行った評価結果のA, B, Cの数が多いものが、その観点の学習の実施状況を最もよく表現しているとする考え方による総括の方法である。例えば、3回評価を行った結果が「ABB」ならばBと総括することが考えられる。なお、「AABB」の総括結果をAとするかBとするかなど、同数の場合や三つの記号が混在する場合の総括の仕方をあらかじめ各学校において決めておく必要がある。

31

30

観点別学習状況の評価に係る記録の総括(国立教育研究所資料より)

・評価結果のA, B, Cの数を基に総括する場合

何回か行った評価結果のA, B, Cの数が多いものが、その観点の学習の実施状況を最もよく表現しているとする考え方方に立つ総括の方法である。例えば、3回評価を行った結果が「ABB」ならばBと総括することが考えられる。なお、「AABB」の総括結果をAとするかBとするかなど、同数の場合や三つの記号が混在する場合の総括の仕方をあらかじめ各学校において決めておく必要がある。

・評価結果のA, B, Cを数値に置き換えて総括する場合

何回か行った評価結果A, B, Cを、例えばA=3, B=2, C=1のように数値によって表し、合計したり平均したりする総括の方法である。例えば、総括の結果をBとする範囲を[1.5 ≤ 平均値 ≤ 2.5]とすると、「ABB」の平均値は、約2.3[(3+2+2)÷3]で総括の結果はBとなる。なお、評価の各節目のうち特定の時点に重きを置いて評価を行うこともできるが、その際平均値による方法等以外についても様々な総括の方法が考えられる。

情報デザインの評価(例1)

知識技能		思考判断表現		主体的に学ぶ姿勢	
ワークシート	8	ワークシート	13	振り返りシート	8
デザイン技能	10	確認問題	6	主体的取り組み	3
確認問題	10				
28		19		11	

a	23~28	16~19	9~11
b	14~22	10~15	6~8
c	0~13	0~9	0~5

情報 I		第2編 コミュニケーションと情報デザイン					
大単元		2-2 情報のデジタル表現					
単元		2-3 情報デザイン					
知識・技能		○ ○ ○ ○ ○ ○					
思考・判断・表現		○ ○ ○ ○ ○ ○					
主体的に学習に取り組む態度		○ ○ ○ ○ ○ ○					
NO	生徒名	知	思	感	知	思	感
1101	北海道	a	b	a	b	a	b
1102	青森県	b	c	b	c	b	c
1103	岩手県	a	b	a	b	a	b
1104	宮城県	b	a	b	a	b	a
1105	秋田県	a	a	a	a	a	a

情報デザインの評価(例2)

知識技能		思考判断表現		主体的に学ぶ姿勢	
ワークシート	8	ワークシート	13	振り返りシート	8
デザイン技能	10	確認問題	6	主体的取り組み	3
確認問題	10				
28		19		11	

第2編 コミュニケーションと情報デザイン														
知識技能	思考判断表現			主体的に学習に取り組む態度			第2編 単元総括			第2編 単元評価				
	確認提出	確認提出	確認提出	振り返りシート・課題	ノート・ブレンゼン工房	高差値	GW	知	思	感	知	思	感	
確認提出	38.0	55.2	25.0	26.0	40.0	16.0	15.0	8	93.2	51.0	79.0	A	B	B
確認提出	25.0	40.8	25.0	20.8	20.0	18.0	15.0	5	65.8	45.8	58.0	B	C	B
確認提出	35.0	50.4	30.0	33.8	40.0	16.0	17.5	8	85.4	63.8	81.5	A	B	A
確認提出	30.0	45.6	28.0	33.8	46.0	16.0	20.0	7	75.6	61.8	89.0	B	B	A
確認提出	40.0	57.6	35.0	57.2	48.0	18.0	15.0	10	97.6	92.2	91.0	A	A	A

単元ごとに、
学習評価で示す配点に変換

課題	成績			観点別の課題
	7月16日 【振り返りシート】	7月16日 【確認問題】1-2-1	7月16日 【確認問題】1-2-2	
80%	3	8	4	4
83.64%	5			2
77.27%	5	6	4	2
81.82%	4	10	4	5
74.55%	3	8	4	2

令和4年度 前期期末考査

「情報 I 」

1年1組・1年2組 単元ごとの出題

問題	分類
[1] ~ [3]	第1編 知識・技能
[4] ~ [6]	第1編 思考・判断・表現
[7] ~ [8]	第2編 知識・技能
[9]	第2編 思考・判断・表現

「記録を残す評価」や「考査」は、「単元別」・「観点別」

情報デザイン

今後に向けて

テンプレートから作成

Canva



技術的には、簡単で見栄えが良い作品ができる。

作品事例や、テンプレートから、デザインを学ぶことができないか？

なぜ見やすいのかなどに触れる必要がある。

37

38

ネットワーク図のやデータの流れを構造化

「情報通信ネットワークとデータの活用」の単元でも、情報デザインの構造化の実習ができるのか？

- [Diagrams.net](#)
- [Microsoft Visio](#)
- [Cisco Packet Tracer](#)

実践発表資料



スライドデータ(hokkaido-c.ed.jp用)

39

40